

○富山北部高等学校タウンミーティング会議録(概要)

日 時:令和元年7月11日(土)

午前9時50分から午前11時40分まで

場 所:富山北部高等学校

出席者:約80人

テーマ1 SDGs未来都市について:環境部

<主な説明事項>

- 1 SDGsの概要について
- 2 世界に現状について
- 3 富山市SDGsの概要について

【環境部の説明に対する質問】

・「ふるさと富山美化大作戦」がいつ開催されるのか、どの時点でどのようにして開催日が告知されますか。

(環境部長)

「ふるさと富山美化大作戦」は、市町村合併以来の旧7市町村の地域全域で一斉に行う事業です。周知の方法につきましては、毎月2回発行しています「広報とやま」において7月20日号と8月5日号で案内しております。他に、富山市のホームページや北日本新聞にも「ふるさと富山美化大作戦」について掲載していただいております。

今年の「ふるさと富山美化大作戦」は、8月18日ですが、同日を年4回設けています「美化推進デー」としても富山市は位置付けています。おそらく皆さんがお住まいのご町内でも当日の朝に、皆さんの保護者の方をはじめ、住民の方は近隣の公園、道路、校区の小学校などに集まり一斉にいろいろな場所へ出向き、ごみ拾い、除草などの形で参加されていると思われます。まさに8月の第3日曜日は、富山市が早朝からごみの

収集、除草などの清掃活動に取り組む日であります。

皆さんは町内の回覧板を見る機会はないかもしれませんが、保護者の方が自宅のカレンダーに町内の除草日を記入されていたら、その日がまさしく 8月の第3日曜日「ふるさと富山美化大作戦」だと認識していただければと思います。

・世界で水が足りていない人々には何ができますか。

(環境部長)

先ほどチャド湖の説明をさせていただきましたが、世界にはこんなにも水が足りていない人がいるのかとのことで、このような疑問が生まれたものだと思います。まさにSDGsの取り組みの典型的な答えをお伝えすることになりますが、貧しい人、富める人、一人一人に焦点を当て、これを先進国、途上国のあらゆる国々で取り組むことがSDGsの理念であります。

解決の方法としては、先進国のいろいろな企業が持っている技術、ノウハウ、これはいろいろなものがあると思います。例えば、海水を淡水にする事業や技術を、途上国で水が不足する地域で活用することなどです。もちろんお金が必要になる話ですので、解決しなければならない課題はあると思います。

水というのは地球上を循環しています。高度な技術とたくさんのお金が必要となりますが、地表、地中、水の流れを活用した取り組みができないものかと思っています。簡単にお伝えすると、技術で解決できる部分、できない部分もありますが、先進国が途上国へ、水が不足している方々を、手助けすることは、まさにSDGsの理念に合致するのだと思っています。お困りの方々のために、いろいろな先進的な技術が発展すると思っています。

以前にアメリカ合衆国の空軍において、空中で何かを爆発させることによって水を発生させ、雨を降らす実験があったと思いますが、そのような技術も含めまして、先進国と途上国との繋がりを強化することによって水不足の解消になればよいと思います。これは期待も込めてですが、現段階で私の思っていることです。

・氷見の寒ブリの漁獲量が減少しているのは、地球温暖化が関係しているのですか。

(環境部長)

氷見のブリや、白エビなどの漁獲量が最近減っていることについて、市の農林水産部でも調べてみたのですが、なかなか確実な答えが見いだせませんでした。しかし、海水温の上昇が、少なからず作用しているのではないかと思います。

水というのは非常に熱を取り込みやすい性質があるそうです。地球の熱の90パーセントは海水が吸収するとのこと。地球が熱くなれば熱くなるほど海水温が上昇するといわれています。

したがって先ほど生態系の話でも少し触れましたが、ブリが捕れなくなったというのもその一つかもしれません。捕れる場所の北限が下がったとか、南限が上がったなど、よく報道されています。科学的な根拠は専門的な研究機関等から知見が出るとは思います。やはり温暖化が作用しているのではと容易に予想されます。

・私たちは「いわせのクリーンアップデー」を行っております。私の地元でも資源回収や公園の清掃も行っているため、今後は参加しようと思いました。

(環境部長)

とても大事な取り組みだと思っています。富山市では、「ふるさと富山美化大作戦」の他にも「川をきれいにする日」、「海岸をきれいにする日」、それから「呉羽丘陵をきれいにする日」など、環境美化活動を行う取り組みを行っています。

「いわせのクリーンアップデー」をはじめ、そのような活動に積極的に参加していただくことは大変ありがたいことだと思っています。

岩瀬の海岸をきれいにすることは、先ほど説明しました海洋排出ごみの削減にも繋がると思っておりますので、大変歓迎したいです。

・SDGsに合致した精神を取り入れた商品、環境にやさしい商品などと分かるような仕組み及びそのような商品が実際にあるのであれば教えてほしいです。

(環境部長)

SDGsの仕組みというのは、環境だけではなくて社会、経済それぞれを変えていきたいと思いますとの理念で成り立っています。環境だけよければ、社会、経済は悪くてもよいわけではありません。

世界の流れを見ておきますと、例えば金融機関が企業に融資する際にも、石炭・石油などを工場の主力エネルギーとして使用している企業に融資は行わないということや、ファミリーレストラン、ファストフード店などでは、プラスチックのストローなどを使用せず、植物由来の品物に変えることなどを宣言している例もあります。世界的な流れとして、そのような方向へ進んでいると理解しています。そのような流れに乗り遅れる企業は淘汰されるのではないかと考えております。我々もそのような選択、そのような物を選ぶ目を養わなければならないと考えております。

車の話として、国内のメーカーはもちろん、海外のメーカーでもこれからは、ガソリン車は造りません、もう電気自動車しか造りませんと、正式に発表しております。20年後、30年後において、この世の中から2輪車を含めたガソリン車のほとんどが姿を消し、選択肢は無くなるとの説があります。

自分一人ぐらいプラスチックの物を買ってもよいだろうという考えでは無く、自分たちのことと捉え、世界の構成の一員だという意識をもって、社会活動、生活をしていただくことだと思えます。

テーマ2 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり:活力都市創造部

<主な説明事項>

- 1 富山市における人口減少・少子超高齢化の進行
- 2 富山市のまちづくりの基本方針
- 3 富山市公共交通活性化の概要について
- 4 富山市中心市街地活性化事業の概要について
- 5 コンパクトなまちづくりの効果について

【活力都市創造部の説明に対する質問】

・路面電車を繋げるとの説明でしたが、富山ライトレールを利用する人と市内電車を利用する人で満員にならないのですか。

(活力都市創造部長)

富山ライトレールは、富山ライトレール株式会社が運行している路面電車です。富山駅南側に乗り入れている市内電車は、富山地方鉄道株式会社が運行していますが、来年の令和2年2月22日に、富山ライトレール株式会社と富山地方鉄道株式会社が合併して、富山地方鉄道株式会社に1本化され、富山ライトレール株式会社が13年の歴史に幕を閉じることになります。富山ライトレールと富山駅南側の市内電車の運行が、富山地方鉄道株式会社に1本化されることになっております。先ほど説明しました、路面電車が南北で1本化されることを踏まえまして、路面電車の運転手が富山駅の高架下で交代することなく、路面電車が直通運転であるように経費的な面も効率化されることから、経営判断されたわけであります。

富山市としては、現在の富山ライトレールの運行形態、現在のサービス水準が維持されるように間引きされることなく、朝夕の10分間隔、15分間隔での運行で、富山地方鉄道株式会社と協議しているところであります。富山地方鉄道株式会社も理解していただいていると思います。

南北接続の開業後は、もの珍しさで、乗られる方も増えまして、多少は混雑するかも

しませんが、現在の運行間隔、運行数も維持していただくことで、極端にラッシュになることは無いと考えていますので、ご理解をいただきたいと思ひます。

・なぜ富山ライトレールは、他の交通機関に比べて運賃が安いのですか。

(活力都市創造部長)

他の交通機関とは、バス、鉄道を指しているのか分かりませんが、富山地方鉄道株式会社の市内電車も通常料金は 200 円です。ICカードの「パスカ」、「えこまいか」であれば、180 円になりますが、基本的に富山ライトレールも含めて、いわゆる路面電車は、当初から、利用者みなさんに分かりやすいように均一料金で運営されています。富山ライトレールは、車両、軌道等の建設も含め、富山市からの補助金で経営されています。富山市は、できるだけ市民の足を守ること、10 分間隔の運行、分かりやすい均一料金制を維持するために、補助金、負担金で経営の下支えをしています。

そのような財政的支援もあり、市民の皆さまにおいて、なるべく低料金のまま、ご利用いただけるように、富山ライトレール株式会社が経営努力されたと考えております。ただし、今後合併をした場合は、現在の 200 円の料金では難しいと思われまひます。今年の 10 月に予定されています消費増税も踏まえ、どのような料金になるかはまだ決定していません。

ただし学生の通学定期などの料金につきましては、富山地方鉄道株式会社、富山ライトレール株式会社にもできるだけ配慮をいただけるものと理解しておりますので、料金につきましても、ご理解をよろしくお願ひします。

・富山市内が 1 枚の IC カードで移動できるようになればさらに利便性が上がると思ひますが、そのような計画はありますか。

(活力都市創造部長)

富山市も、そのようになればよいなと思ひております。何よりも県外からの観光客の方、海外の方からも同じようにご意見をいただひております。

例えばJR東日本の「Suica(スイカ)」とか、JR西日本の「ICOCA(イコカ)」などについては、東京などにおいて地下鉄も含めまして1枚のICカードで利用できます。非常に便利であるため、富山の公共交通も同様に利用ができないかと、以前から考えていまして、実際にはICカードの権利を持っていらっしゃるJR東日本、JR西日本にも何度も訪問しています。ぜひ共通システムを、導入させていただきたいと申し上げているのですが、導入する際は、両社から多額の負担金を要求されます。

現在、安価に導入する方法を検討しています。本日は発表することはできませんが、もうしばらく待っていただければ、皆さまに喜ばれる話ができるかと思います。この件は後日、市長から発表させていただければと思います。

・公共交通についてはすごく発展していると思いますが、富山には遊ぶ場所がありません。例えば「ROUND1(ラウンドワン)」のようなアミューズメントパークなどが駅周辺にあればよいと思います。

(企画管理部長)

富山には若い人たちが遊ぶところが少ないです。富山市は、コンパクトなまちづくりを進めていくなかで、中心市街地に盛んに税金を投入し、地価を上げて、マンションやホテルなどの建設を進めていますが、遊ぶエリアは、やはり少ないです。

これは、そもそも富山は観光都市ではないことも一因としてありますが、アミューズメントパークのような施設も確かに必要だと思っております。さらに中心市街地に投資を行い、民間の事業者の魅力を感じてもらえるような環境づくりを行うことが、もっと大事だと思っております。さらに人口が減少していくなかで、地方都市はますます減衰していきます。このことをどのように考えていくのかも大事なことだと思います。

もう一つは、富山はすごく住みやすく、隣の金沢市と比べても、住みやすいまちです。富山に住んでいれば、金沢にも遊びにいけるし、高山にも遊びに行けるし、立山連峰にも行けるし海にでも遊びに行けます。金沢も我がまちだと思って、まずはたくさんの人たちに富山に住んでいただくことが「ROUND1(ラウンドワン)」のようなアミューズメン

トパークの誘致にも繋がっていくと考えております。

・コンパクトなまちづくりを目指すことで一人暮らしの高齢者の方が外出する機会が増えると思いますが、高齢者の方を対象とした施設などを整備すれば、経済的にも活性化すると思います。

(企画管理部長)

20年後、30年後には、高齢者の数がピークを迎えまして、1人暮らしの高齢者が増えます。高齢者率がますます高くなっていきます。

ただし、元気な高齢者であれば問題はないと思います。公共交通の整備も含めて外出の機会を作り、健康寿命の延伸に繋がる元気な高齢者を作る取り組み、高齢者が住みやすいまち、施設を整備していくことも大きな問題でありまして、全国の地方都市が共通して抱えている問題です。

その点では、富山市は進んでいる方と思われませんが、今後も、ご意見にもございましたとおり、高齢者が住みやすいまちを作っていくことを、富山市の施策の大きな柱の一つとして進めていきたいと思っています。

・高齢者の車によるトラブルを未然に減らすためにも、高齢者の方々が富山ライトレール、バスなどの公共交通を積極的に利用できる取り組みをもっと進めていってほしい。

(活力都市創造部長)

高齢者の方は「おでかけ定期券」を持っていただくことにより、公共交通を100円で利用できます。ワンコインというのも非常にお得感がありますので、高齢者の「おでかけ定期券」の普及をこれからも進めていきたいと考えております。

皆さんの、おじいさん、おばあさんで「おでかけ定期券」をお持ちでない方がいらっしやいましたら、ぜひ持っていただくように、働きかけていただければありがたいと思います。

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)